



日時

平成 23 年 10 月 22 日 (土)

参加費無料

会場

日本大学工学部次世代工学技術研究センター (NEWCAT) 1 F

<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/>

プログラム (予定)

司会 荒木 慶一 (京都大学)

14:00~16:00 講演

1. 工学部長 挨拶 出村 克宣
2. 問題提起

「福島県内学校における汚染表土問題の現状と課題・地中への仮置きだけで十分か？」
パリーク サンジェイ (日本大学)

3. 取り組み (1)

「コンクリートポッドによる放射性物質の封じ込めと見える化」
木村 健一 (技術コンサルタント, 元 (株) フジタ 技術センター)

4. 取り組み (2)

「Monuments of the 3・11 Earthquake and Nuclear Disaster」
梅林 克 (建築家, 立命館大学)

16:00~17:00 パネル・ディスカッション

本年 3 月 11 日に発生した大地震と大津波は、東日本に大きな惨状をもたらしました。またその後、福島県で発生した原発災害は、現在でも多くの問題を引き起こしています。このような中で、本シンポジウムでは緊急の課題となっている「福島県内学校における汚染表土問題」を取り上げ、工学分野、特に「建築学」、「コンクリート工学」、「原子力工学」の立場から、問題の現状及び課題と、具体的で実行可能な取り組みについて議論の場を設けることにしました。関心ある皆様に御来場頂き、議論に御参加頂ければ幸いです。

問い合わせ先

日本大学工学部建築学科 パリーク サンジェイ

TEL/FAX: 024-956-8747

E-mail: pareek@arch.ce.nihon-u.ac.jp

主

催

一般社団法人構造技術研究会・放射線遮蔽コンクリートポッド研究委員会

